

住み慣れた地域で暮らし続けるための

支え合い活動や生きがい仕事、生活支援サービス事業の

立ち上げ支援講座

どなたでも受講いただけます。

全講座
受講無料※第2段階の宿泊費・交流会費は、
実費をご負担いただきます。岩手県
釜石会場

馴染みのある人たちとともに暮らし続けるために、見守りやサロンなどの「支え合い活動」や、有償の支援サービスや介護保険のサービス、お店や移動販売などの「生活支援サービス事業」を立ち上げ、住民が主役の地域コミュニティづくりの支援を目的に開催します。

講座開催のしくみ・スケジュール

第1段階

(日帰り) | 各回とも 13:00～16:30

※第1段階では、ご希望の開催回を、複数受講いただくことができます。
仙台、石巻、二本松会場でも開催します。情報をご希望の方は事務局にご連絡ください。

- 日々の暮らしのなかで、隣近所などの地域の人を気遣ったり、気の合う仲間と「集いの場」などの支え合いの活動を始めたり、自治会や町内会などの住民組織が自ら地域で必要な事業に取り組んだり、地域で繰り広げられる活動や事業には、さまざまな入り口と発展のカタチがあります。
- 関心はあるが一歩が踏み出せない、活動をどう始めたらよいかヒントを得たい、事業化の方法を知りたいという方々を対象に、全国各地の実践報告とその解説から、地域のなかで人と人がつながり合う活動と事業の実際を学ぶとともに、次なる一歩を踏み出すきっかけとすることを目的とします。

実践報告

コーディネーター

会場/定員

1回目	10/25 (土)	農村交流施設・森の巣箱 (高知県津野町) 施設長 大崎 登	仙台白百合女子大学 教授 大坂 純	カリタス釜石ベース/40人
2回目	11/16 (日)	にしはらたんぽぽハウス (熊本県西原村) 施設長 上村 加代子	東北福祉大学 教授 高橋 誠一	カリタス釜石ベース/40人
3回目	12/18 (木)	富山型デイサービス・このゆびと一まれ (富山県富山市) 理事長 惣万 佳代子	仙台白百合女子大学 教授 大坂 純	小佐野地区生活応援センター・大ホール/120人

第2段階

(1泊2日)

1日目/13:00～17:30 ナイトセッション 19:00～20:00

※交流会 20:00～自由参加 2日目/9:00～15:00

- 第1段階を受講された方で、活動や事業を立ち上げたい方を対象に、地域の課題のを見つけ方や解決方法、活動や事業の立ち上げ方などを、グループワークをとおして学びます。全国各地で実践する人たちの体験談やアドバイスを受けて、それぞれの「思い」をカタチにしていくことを目指します。各会場30人の定員です。第1段階を1回以上受講された方が対象となります。

H27.1/10 (土)～ 1/11 (日)	つどい場さくらちゃん (兵庫県西宮市) 代表 丸尾 多重子 地域生活支援オレンジねっと (宮城県仙台市泉区) 代表 荒川 陽子 大曾倉ふれんど・宅幼老所亀群 (長野県駒ヶ根市) 代表 下平 恵子 川根振興協議会 (広島県安芸高田市) 会長 辻駒 健二	東北福祉大学 教授 高橋 誠一 仙台白百合女子大学 教授 大坂 純	釜石市青葉ビル 研修室/先着30人 (宿泊はホテルルートイン 釜石を予定)
---------------------------	--	--	--

第3段階

(日帰り)

10:30～16:00

- 第2段階をもとに、活動や事業を立ち上げる際に役立つ知識を学びます。事業計画書の書き方、各種制度情報などを学びます。30人の定員です。第1段階と第2段階を受講された方が対象となります。

H27.1/31 (土)	(調整中)	東北福祉大学 教授 高橋 誠一	仙台白百合女子大学 教授 大坂 純	会場は決定次第、お知らせいたします。 先着30人
--------------	-------	--------------------	----------------------	-----------------------------

第3段階修了後

- 講座受講者のネットワークづくりと集いの機会をサポートします。
- 平成27年度以降、フォローアップ講座の開催やアドバイザーの派遣、情報提供を予定しています

主催 特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター

後援

岩手県、宮城県、福島県、釜石市、仙台市、石巻市、二本松市、浪江町、
岩手県社会福祉協議会、宮城県社会福祉協議会、福島県社会福祉協議会、釜石市社会福祉協議会、仙台市社会福祉協議会、
石巻市社会福祉協議会、二本松市社会福祉協議会、浪江町社会福祉協議会、宮城県サポートセンター支援事務所

受講申込書



FAX 022-727-8737

住み慣れた地域で暮らし続けるための支え合い活動や生きがい仕事、生活支援サービス事業の立ち上げ支援講座

フリガナ 氏 名				性別	男 ・ 女
住 所	〒 自宅 職場				
電話番号			FAX		
メールアドレス					
所 属			職名		
現在の活動、 ご希望など	取り組みたいこと、または関心のあることを簡単にお知らせください。 現在活動されている方は、内容を簡単にお知らせください。				

受講を希望される講座の会場と
開催回を○で囲んでください。複数受講可

※第1段階を1回以上受講された方で、
第2段階と第3段階の両方を受講できる方がお申し込みいただけます。
ご希望の会場と必要事項を○で囲んでください。

第1段階	1 回目 (10/25)	2 回目 (11/16)	3 回目 (12/18)
------	-----------------	-----------------	-----------------



第2段階	H27. 1/10 ~ 11	○宿泊の希望／あり・なし → 禁煙・喫煙 ○交流会の希望／あり・なし ※宿泊費(8,000円前後)、交流会費 (4,000円前後)は実費をご負担いただきます。
第3段階	H27. 1/31	※会場が確定次第、受講者にお知らせいたします。

【受講締切】

受講を希望される第1段階の講座の開催日10日前まで
申込書によるFAX、または電話、ホームページからお申し込みください。



受講申込書を受け付け後、土日祝日を除き3日以内に受信確認のFAXをいたします。
会場の住所等は、受講決定のご案内でご連絡いたします。

● 報告事例紹介 ●

農村交流施設・森の巣箱
(高知県津野町)

農村交流施設「森の巣箱」は、廃校となった床鍋小中学校を、住民による100回を超える協議を通じて、ともに暮らす住民にとって使いやすく、災害時にも安心・安全が確保できる集落の拠点施設に変化させた取り組みである。また、集落内の住民によってユニークな高齢者の生きがいづくりの実践や、集落全体の合意を基盤とする見守り活動にも主体的に取り組んでいる。

つどい場さくらちゃん
(兵庫県西宮市)

父母・兄の介護を10年間続けたのち、本人・介護者・介護職・医療者・行政・社協・議員・大学・学生・地域活動者・子ども・子育て中のママ…誰もが集える場・しゃべれる場・泣ける場・笑える場・食べる場・学べる場・ともに出かける場・生きる場として、つどい場を開く。

川根振興協議会
(広島県安芸高田市)

1972年の水害から始まった旧高宮町の川根振興協議会のまちづくり活動。閉店した農協の店舗とガソリンスタンドを譲り受けての営業や、廃校跡地を利用したエコミュージアムでの飲食と宿泊サービスの提供など活動は多様。地元住民が「心の過疎」から脱却を目指し、「自分たちがどう生きるか」を追求している。

にしはらたんぽぽハウス
(熊本県西原村)

旧中学校寄宿舎を改修し、3障がい共生型の自立支援センターとして活動中。地域のボランティアやホームレスの方と協力して農業活動を行い、収穫物を加工して販売。障がいの有無を問わず利用できる交流の場として地域に開放し、時には小学生がお昼を食べに来ることも…。

地域生活支援オレンジねっと
(宮城県仙台市泉区)

「地域の人々で互いに困った時は助け合い、支え合っていこう」と活動している市民団体。「腰が痛いので掃除や買い物を手伝ってほしい」など、いろいろな相談を受けて活動している。地域情報誌の発行や、ふれあいサロン活動、多彩な講座も開催。「誰でも立ち寄れる地域のお茶のみサロンと手づくりショップ」になっている。

富山型デイサービス・このゆびと一まれ
(富山県富山市)

誰もが住み慣れたまちで安心して暮らせる、そんなまちづくりを目指している。赤ちゃんからお年寄りまで、障害があっても一つ屋根の下でみんなで一緒に過ごし、お世話をされる側だけではなく、時にはお世話する側になることも。富山型デイサービスの草分け。

大曾倉ふれんど・宅幼老所亀群^{かめむら}
(長野県駒ケ根市)

中山間集落の主婦たちが、地域のお茶のみサロンの際に参加者の様子を見て、ここで暮らし続けるためには、将来介護が必要になることを実感し、宅幼老所「亀群」を開所。ほかに、介護予防事業や各種相談、地場産品を使った加工販売、景観を大事にした地域づくりなど、さまざまな活動を展開している。

主な講師

高橋 誠一 (たかはし・せいいち) 東北福祉大学 総合福祉学部 教授

北海道大学大学院経済学研究科博士課程を経て、同大学助手。宅老所、グループホーム、ユニットケア、小規模多機能型居宅介護などの小規模ケアを研究するなかで、認知症介護やターミナルケアに関心をもつ。

大坂 純 (おおさか・じゅん) 仙台白百合女子大学 人間学部 教授

日本社会事業学校研究科を卒業後、仙台市立病院で医療ソーシャルワーカーとして勤務。現在、社会福祉法人ありのまま舎理事長として、理念の「地域の中で障がいを持っていても、一人の自立した人間として生活」の実現を目指し活動中。



特定非営利活動法人

全国コミュニティライフサポートセンター

(担当: 橋本・堀切)

宮城県仙台市青葉区木町 16-30 シンエイ木町ビル 1 階

●電話からもお申し込みいただけます。

TEL : 022-727-8730

●CLC のホームページからも申し込みができます。

http://www.clc-japan.com